

第1問

問1 クロスラミナ(斜交葉理)

リップルマーク(漣痕)

問2 斑れい岩

問3 種としての生存期間が短い.

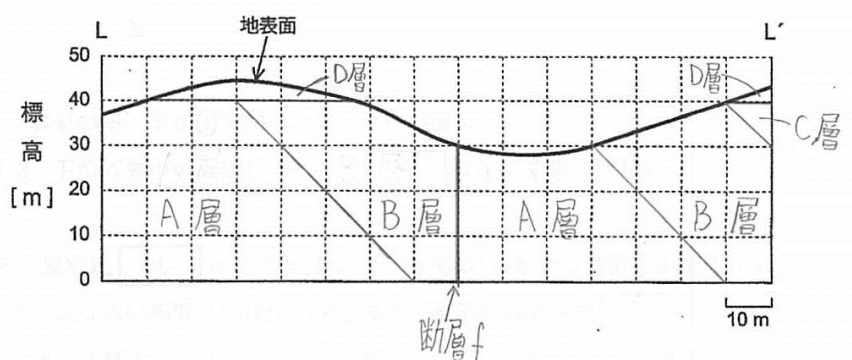
広範囲から産出する.

産出数が多い.

問4 N45° E

問5 東側が 70m 上昇

問6

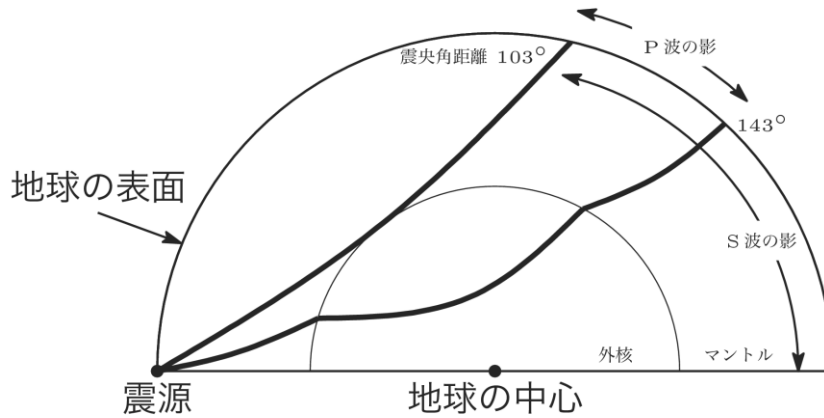


第2問

問1 ア : (b) イ : (d) ウ : (d) エ : (c)

問2 (b)

問3 (1)影(地震波の影)
(2)



説明:P波はマントルから外核に入ると速度が不連続に低下するため、屈折しP波の影ができる。
横波であるS波は液体中を伝わらず、震央角距離 103° 以遠はS波の影となっているため、
外核は液体の状態にある。

問4 ある種の隕石であるコンドライトは、地球が形成された約46億年前の惑星形成時の物質がそのまま残っていると考えられているから。

第3問

問1 ア : (a)

問2 イ : 対流 ウ : 成層 エ : 中間 オ : 電離層

問3 0.65 °C
気温減率

問4 成層圏中のオゾン分子が太陽放射中の紫外線を吸収し、大気を暖めている。また、大気は上部ほど密度が小さく熱容量が小さいため、成層圏の上端付近で気温は極大になる。

問5 名称 : フロン(フロンガス)

説明 : フロンは太陽からの紫外線を浴びると、分解され塩素原子が生じる。塩素原子は触媒としてはたらき、オゾン分子を次々に分解してオゾン層を破壊する。

※指定語に下線を引いている

問6 宇宙空間を漂う塵などが大気圏に突入し、加熱され気化して発光した現象。

問7 (1)金星 : (c) 火星 : (b)

(2)金星は厚い大気をもつため、二酸化炭素による温室効果が非常に強く表面温度は高い。それに対して火星は薄い大気しかもたないため、二酸化炭素による温室効果が弱く表面温度は低い。

※指定語に下線を引いている